

## 砂遊び自動車 (口繪寫眞参照)

### 富士見幼稚園

砂遊び自動車は、東京市富士見小學校附屬幼稚園の園児が、組立て、喜んで居る所であります。

此遊具は幼兒が砂場で砂遊びと、木片組立とを聯絡して、種々の遊びをなすに暗示を得て、考案したるものであります。

即ち砂遊と木片組立てとの聯絡作業であります。

此自動車は其の一例に過ぎませんが、大小長短の木片を幼兒に與ふれば、ボートや、馬車其の他種々の考案作業を、自由自在に發表して幼兒の天眞の興味大なることを實驗致しました。

一、二、三葉の寫眞は、木片のはこびから組立迄の實況であります、他の一枚は出來上て喜んで乘て居る所であります。

出來上りました自動車の頭部は砂で出來て居ります、頭部の所にある電氣は、砂遊びのお碗を使て居ります車には藤の輪を用ゐて居ります乘て居ります所は砂を掘て深くなつております。

抑も此自動車の成立は毎日砂遊びを觀察致して居りますと、幼兒の一部四五名が集て砂を掘り頭部を作り、腰かけを作り、ハンドルにおしやもじをさし、車には藤の輪をつけ、漸くにして出來上りよろこんで乗り込みますと、破損が出來き殆んど修繕に勞力を費して居ります、そこで何か都合よき板きれを與へたならば、其の目的を達せしむる事が出來るだろうと思ひまして、フレーザー館に言つて、右の板を與へ作らせたのであります。これは未だ至て不完全のもので御座いますから御覽になりました御方は、御批評と御感想とを御腹藏なく御仰て頂きましたなら、多大の幸福と存じます。